

2019年度第2回(通算7回目開催)

鎮静ハンスオンセミナー

～処置時の鎮静計画・観察・対応の院内教育担当者対象～

2020年

2/24(月・祝) 10:00～17:00

(9:30受付開始)

【会場】：日本医療機能評価機構 9階ホール

【定員】：24名（1施設2名 1組で応募ください）

【参加要件】★院内で鎮静の院内教育を担って行く方が望ましい

- ・医療安全管理担当者 ・医療安全担当医師
- ・その他 （実務者・処置時の鎮静の教育研修を担う方など）

※ 応募時の注意：グループで鎮静中の場面を設定し、鎮静計画をたてシナリオを作り、実際に研修のファシリテーションを体験していただく研修になります。

2名一組の参加について参加者からの声

- 医師と看護師で参加することで院内教育がスムーズにできた。
- 1名で参加したため習得した知識が思うように院内に広げられなかった。
- 薬剤師と看護師で参加した、院内で使用している鎮静剤の統一が図れた。
- 実務者と安全管理の看護師で参加した、看護師の院内教育に取り組めた。
- 医療安全の医師・看護師で参加、マニュアル作成や研修を開催した。
- 実務者看護師2名で参加、内視鏡のみで研修会が行えたが、院内全体に広げるのは難しい。

－3ヶ月後フォローアップアンケートから抜粋－

【申込期間】：11/20(水) 13時～定員になり次第締め切ります。

【参加費用】：1施設20,000円（2名分）（税込み）

※ 宿泊・昼食は各自でご手配ください

※ 参加決定後、一旦お振込みいただきました費用は返金いたしかねます。

※ 災害等で開催が中止になった場合には参加費の返金いたしますが、宿泊費・交通費の返却はありませんのでご了承ください。

※ 災害や交通の問題が予測できる場合の中止案内は、前日12時までに申し込みアドレスへ通知とともにPSPホームページにて案内いたします

【研修目的】

安全な鎮静管理のための観察ポイントを理解し、副作用発生時の対応に関する知識・技術を習得し、各施設で安全な鎮静管理について研修会等を開催するためのシナリオ作成とファシリテーションの仕方について学ぶ

【研修内容】講義＋演習



- 1、鎮静総論
- 2、鎮静計画
- 3、鎮静中の患者観察と評価について
- 4、ワーク1（鎮静計画の作成、ワークシート使用）→振り返り
- 5、ワーク2（場面設定に基づくシナリオ作成）
- 6、シナリオステーション（作成したシナリオをお互いに実施）
→ 振り返り
- 7、デブリーフィング

※進行予定や協議時間等については予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

【講師一覧】

（敬称略）

安宅 一晃	地方独立行政法人 奈良県病院機構 奈良県総合医療センター	集中治療部 部長
菊地 龍明	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	医療安全・医療管理学 准教授 病院長補佐 安全管理指導者
森安 恵実	北里大学病院	RST・RRT室 係長
長谷川 隆一	獨協医科大学埼玉医療センター	集中治療科 学内教授
茂呂 悦子	自治医科大学付属病院	集中治療部 看護師長

◇参加申し込みはホームページから

当協議会ホームページ(<https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/>)「セミナー一覧」画面よりお申し込みください。申し込みは1名ずつ入力してください。
会員病院の申し込みは会員専用サイトへのログインが必要です（要ID・パスワード）。

※ご登録いただいた個人情報は、当機構の個人情報保護方針に基づき安全かつ適正に管理いたします。

◇お問い合わせ先：（公財）日本医療機能評価機構 教育研修事業部
柴田・遠田 TEL03-5217-2326（直）